

Ⅰ 「命を守るヘルメット講演会」 ～ 子どもたちの命を、未来をまもろう ～

1月25日(火)7限に、塩見 恵里香さんを講師として、「命を守るヘルメット講演会」～子どもたちの命を、未来を守ろう～を、本校1年生を対象に実施しました。

塩見さんの子どもは、平成29年1月、高知市内において、ヘルメット着用のないまま自転車を乗車中に、交通事故に遭い、一時意識不明の重体となりました。この交通事故およびその後の経験を通して、母親目線で感じた「自転車乗車用ヘルメット着用の必要性・重要性」を安全教室や会合等で講演をされている方です。



※ アンケート結果は下記の通りです。

1. 本日の講演を聞いて、自転車乗車時には、ヘルメットの着用は必要だと思いますか。

	1-1	1-2	1-3	1M	1S	1EI	1RC	合計
①とても思う	20	20	18	11	4	6	8	87
②思う	5	5	7	6	1	6	2	32
③思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
④まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0	0

2. あなたは、自転車乗車時に、ヘルメットを着用しようと思いますか。

	1-1	1-2	1-3	1M	1S	1EI	1RC	合計
①とても思う	15	10	11	7	1	4	6	54
②思う	10	13	12	9	4	5	2	55
③思わない	0	1	1	1	0	2	2	7
④まったく思わない	0	0	0	0	0	1	0	1

一年生の生徒全員が、塩見さんの講演に聞き入り、アンケート結果についても全員の生徒が、自転車にはヘルメットが必要であると思ってくれました。「自転車乗車時に、ヘルメットを着用しようと思うか」という問いは、109名の生徒が、「①とても思う」、「②思う」と回答してくれました。ぜひ自転車乗車時はヘルメットを着用するように心がけましょう!!

【生徒の感想】

「事故にいつ会うのかわからないのでヘルメットを着用することは当たり前にならないといけないと思った。事故にあって自分はもちろんまわりの家族や友達など、大切な人を悲しませることはしたくないと思った。塩見さんは事故に遭った経験、辛かった経験を講演という形で僕たちに思いを伝えてくれたので、その思いをしっかり受け止めようと思った。」

2. スケアード・ストレイト教育技法による交通安全啓発講習会

11月10日(水)に、スケアード・ストレイト教育技法による交通安全啓発講習会を実施しました。交通ルール・マナーについて、ときにはコミカルに、また、プロのスタントマンによる交通事故実演を目の前で見ることで、わかりやすく学びました。



【生徒感想】

- ・ルールを知っていても、守っていなかったときがあったなと思い出したので、それらに気を付けて自転車に乗ろうと思います。
- ・めんどくさくてヘルメットをかぶっていないときがあるので、加害者にも被害者にもならないために、ヘルメットを着用し、安全運転で自転車に乗りたいと思いました。
- ・運転手さんとアイコンタクトをして、横断歩道を渡りたいです。

3. 1月のヘルメット着用週間について

1月24日(月)から28日(金)まで、ヘルメット着用週間を行いました。着用率は下記の表のとおりです。

日時		1月				
		24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)
普通科・工業 科駐輪場	台数	61	64	71	72	72
	着用者数	9	9	10	10	10
	着用率	14.8%	14.1%	14.1%	13.9%	13.9%
階段下駐輪場	台数	23	18	25	21	18
	着用者数	4	4	9	10	10
	着用率	17.4%	22.2%	36.0%	47.6%	55.6%
合 計	台数	84	82	96	93	90
	着用者数	13	13	19	20	20
	着用率	15.5%	15.9%	19.8%	21.5%	22.2%

特に、1月26日(水)は、前日の塩見さんによる「命を守るヘルメット」講演会の影響もあってか、着用率が上がったように思います。講演を聞いてくれた一年生のヘルメットの着用が特に多かったように思います。今後も、ヘルメット週間だけではなく、いつもヘルメットを被るように習慣付けて頑張りましょう!

